

はじめに

平成11年3月に告示された高等学校学習指導要領では、第一章総則の中で、教育課程の編成に当たって、「各学校において、生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かし、特色ある教育活動を展開する中で、自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めなければならない」とうたっています。今後、各学校においては、学校・家庭・地域社会の役割と連携の在り方、生徒一人一人の能力・適性に応じた教育の在り方、国際化、情報化など社会の変化に対応する教育の在り方などを考慮しつつ、魅力ある高等学校づくりを模索していくことになるでしょう。また、特にこれからは情報通信技術の利点を最大限に活用し、学校独自の文化を学校内で培うばかりでなく、家庭・地域社会を中心とした外の世界に向けて、学校紹介や生徒の活動状況などの情報を発信していくことが必要になってきます。

このような状況の中で、愛知県教育センターでは、本年度、教科指導研究会(英語)において、“The Education Center School Handbook – English Edition – ”を作成しました。これは、平成8年3月発刊の“OUTLINE OF EDUCATION”と平成10年3月発刊の“EDUCATIONAL TERMS”をあわせ、一部の改定と加筆を行い、その内容のより一層の充実を図ったものです。各学校で、学校要覧(英語版)の作成、ホームページの作成、また、海外の姉妹校との交流や、AETをはじめ、海外からの留学生などへの学校紹介の際に利用していただければ幸いです。

平成12年3月

愛知県教育センター

教科指導研究会(英語)委員(平成11年度)

愛知県立千種高等学校	教諭	山森孝彦
愛知県立一宮南高等学校	教諭	小川恵子
愛知県立犬山高等学校	教諭	後藤幸子
愛知県立内海高等学校	教諭	三井健
愛知県立刈谷高等学校	教諭	丹羽正幸
愛知県立御津高等学校	教諭	齋藤隆弘
愛知県教育センター	研究指導主事	藪田敏行